

# 福祉

県中児童相談所 相談判定課  
令和6年度採用

私は

こども達の笑顔

が好き!



## わたしを表すKEYWORD

### # 研修

公務員としての心構え、知識、技術に関する概観的な研修に加え、業務内容に関する専門的な研修が数多くあります。知識、技術の習得はもちろん、様々な部署の同輩と繋がることのできる良い機会です。

### # 食べることが好き

出張が多い仕事のため、出張先で昼食をとる機会があります。出張先の飲食店を事前にリサーチしたり、先輩職員のおすすめする飲食店に行ったりと、仕事の合間に美味しい食べ物でリフレッシュすることができます。

### # 映画鑑賞

### # 温泉

### # ドライブ

## 福島県の未来を担うこども達に寄り添う

私は担当地区において、家庭からの相談に対応する相談業務、状況に応じてこどもを保護する一時保護業務、必要に応じて施設への入所措置等の措置業務、こどもやその家族の生活に関わる関係機関との連携業務を担っています。家族の抱える課題は様々であり頭を悩ませることが多くありますが、こどもの福祉に寄与することができる業務に携われていることにやりがいを感じています。



↑ 保護者と面接をする様子

## 県職員を目指した理由

福島県の実情をよりよく知ることによって、困っている方々の力になることができると思ったからです。

大学進学を機に福島県外で生活をする中で、改めて福島県の魅力に気づき、私にできることは何か考えました。

## 職場の雰囲気について

明るく、温かく、アットホームな職場です。

躊躇せずに業務の報告・連絡・相談ができる柔らかな雰囲気でありながら、ベテランの方々とはチームとして協力し合って業務を行う体制は新規採用職員としては心強く、大変居心地が良いです。

## とある一日のスケジュール

- 8:30 回覧、メールのチェック
- 9:00 保護者や関係機関との電話連絡
- 10:00 来所面接
- 12:00 昼休み
- 13:00 出発
- 14:00 関係機関を訪問し、打ち合わせ
- 16:00 帰庁、記録の作成
- 17:15 終業

## サポート職員制度の感想



↑ 里親事業の司会をする様子

先輩職員が丁寧に指導や助言をしてくれます。基本的な業務の進め方等への指導や、仕事で生じた悩み等への助言を受ける事ができます。明確な正解のない相談援助業務をする上で、相談できる先輩がいるという安心感や、方向性を正してくれるという心強さは励みになります。

## この1年間で、印象に残った経験

「こどもの不登校」に関する相談を受けたことです。保護者や子ども本人と相談を重ね、それぞれの関わり方・強みについて一緒に考えていく中で、徐々に学校へ登校できるようになり、保護者は安心してお子さんと関わる事ができるようになりました。保護者から「相談してよかった」という言葉をいただいた時には胸が熱くなりました。



↑ 打ち合わせをする様子

## 福島県職員として実現したいこと、目標としていること

関わる方々が少しでも前向きになれるような存在になりたいです。家庭だけでは対処が困難な課題について、子どもや保護者、親族、市町村などがそれぞれの強みを活かし、その家庭なりの解決に近づけるような方法を一緒に考えていきたいです。

加えて、日々の業務の中で得られた反省を活かし、個人としての力をつけていきたいです。